

(5) 令和6年度 指定管理者自己評価表

施設名：三日市市民ホール

指定管理者名：株式会社尾崎スイミングスクール

1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	B
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	B
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	B
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	B
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	B
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	B
	備品の管理は適切か。	A	B
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	-	-
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
	労働諸法を遵守しているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	B	B
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。	-	-
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	S	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	B

評価欄の説明

S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。

A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。

B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。

C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

2. 総合評価（自己評価）
総合評価コメント欄（今年度の成果、今後の改善の方向性、取組などを記入）
令和6年度も、6月31日(月)～7月7日(土)午前9時から午後8時まで河内長野市長選挙期日前投票会場の開設がありました。また他にも、7月22日(月)～27日(土)午前9時から午後8時まで、大阪府議会議員河内長野市選挙区補欠選挙期日前投票会場の開設、10月21日(月)～26日(土)午前9時から午後8時まで、第50回衆議院議員総選挙期日前投票会場の開設がありました。令和7年1月15日(水)～28日(火)にかけて、市民ホール利用にアンケートを実施しました。

3. 収支差額

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年実績	備考
収入	指定管理料	5,865,000	5,865,000	0	5,044,000	
	使用料収入	0	0	0	0	
				0	0	
				0	0	
				0	0	
	収入総額	5,865,000	5,865,000	0	5,044,000	
支出	人件費	2,980,000	5,348,200	-2,368,200	5,003,025	
	事務費	396,000	55,128	340,872	55,128	
	事業費	60,000	0	60,000	0	
	管理費	327,000	0	327,000	0	
	光熱水費	1,281,000	713,236	567,764	399,332	
	その他			0		
	支出総額	5,044,000	6,116,564	-1,072,564	5,457,485	
収支差額		821,000	-251,564	1,072,564	-413,485	

4. 市評価
令和6年度においては、自主事業として「英検準会場」としての事業を実施されるなど、市民の英検受験を支援し、河内長野市の英語及び社会教育の推進に資する新たな取組を実施された点について評価します。 一方で、施設の稼働率については、年々低下傾向が見られます。令和7年度においては、ホールの設置目的に則した適切な施設運営に引き続き努めていただくとともに、利用者からの評価向上を図りつつ、新たな利用者層や利用が少ない若年層への積極的な周知を行い、利用率・稼働率の向上につながるような工夫・取組を期待します。 また、令和6年度に導入したキャッシュレス決済についても、積極的に情報発信するなど利息促進を図り、市民の利便性向上と、事務の更なる効率化に繋げていただこうと思います。